



確かな学力の向上をめざして【5月】

■学習評価の改善～「主体的に学習に取り組む態度」の評価～

新学習指導要領、小学校では2年目、中学校では今年度より全面実施です！

1 「主体的に学習に取り組む態度」の評価について再確認してみましょう

Point

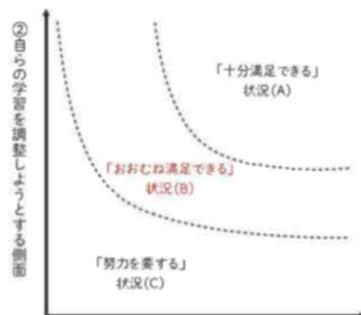
各教科等の評価の観点の趣旨に照らして、以下の2つの側面を評価することが求められます。

① 粘り強い取組を行おうとする側面

- (例) ★時間をかけて一生懸命取り組む姿
- ★諦めずに最後までやり遂げる姿

② 自らの学習を調整しようとする側面

- (例) ★自分の学習状況を自己診断する姿
- ★難しい学習ができるようになる方法を自分なりに工夫したり、人に聞いたりする姿



①粘り強い取組を行おうとする側面

2 小学校国語の単元を例に具体的な評価の仕方を確認しましょう

「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【小学校 国語】(p42～47)より

単元名 「夏休みの思い出を報告しよう」 (第2学年 A話すこと・聞くこと)



4 指導と評価の計画 (全7時間)

時	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法等
1	<ul style="list-style-type: none"> 夏休みの思い出を報告するという学習の見通しをもつ。 夏休みの思い出を複数想起し、その中から最も友達に報告したいことを選ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の伝えたいという思いを引き出すために、教師が自身の思い出を紹介するなどして、学習への意欲を高め、学習の見通しがもてるようにする。 夏休みの思い出の中から、伝えたい思いの強さを手掛かりにして、一つを選ぶように指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「思考・判断・表現①」ワークシート① <ul style="list-style-type: none"> カードの並び順とその順序にした理由の確認 「主体的に学習に取り組む態度①」観察・ワークシート② <ul style="list-style-type: none"> 友達との関わりを通して並び順を見直している様子の確認
	<ul style="list-style-type: none"> 夏休みの思い出を友達に報告するためにはどのような順序で話したらよくなるかを考えながら、ワークシート①の該当箇所にカードを置き、その理由を書く。 ※ ワークシート①参照 友達と交流した上で、カードの並び順を見直し、その順序で報告しようとした理由をワークシート②に書く。 ※ ワークシート②参照 	<ul style="list-style-type: none"> 物事や対象についてどのような順序で説明すると伝わりやすくなるか(例えば、経験した順に並べるなどの時間的な順序、感動の大きかったことの順に並べるなどの事柄の順序)について例を示す。 友達が並べたカードの順序と比べてみたり、友達と相談をしたりしながら、並べる順序を考えるよう促す。 最初の並び順から交流後に決めた並び順になった過程 	

おおむね満足できる状況(B)の具体的な姿
◇カードの並べ方について友だちに相談している
◇友だちのカードと見比べてカードを入れ替えようとしている 等

「友だちのカードと見比べて、カードを入れ替えようとしている」と判断し、Bと評価

Bと判断する状況を設定し、どのような方法で評価するか、また、Bに達しない児童生徒にどんな声かけや支援をしたらよいか考え、児童生徒の学習の進め方を適切に指導することが大切です。

(参考) NITS オンライン講座「新学習指導要領に対応した学習評価」

